

「令和3年度 SJAC 革新航空機技術開発センター 最新の技術動向調査研究」に係る公募について

概要

事業名： 令和3年度 日本航空宇宙工業会 革新航空機技術開発センター 最新の技術動向調査研究
対象者： SJAC 正会員企業、あるいは、日本国内の法人（大学または公的研究機関に限る）
公募期間： 令和3年8月6日(金)～令和3年8月26日(木)
問合せ先： 日本航空宇宙工業会技術部 担当者：松田圭介 e-mail： keisuke.matsuda@sjac.or.jp

詳細

1. 事業内容

（一社）日本航空宇宙工業会（SJAC）革新航空機技術開発センターは、将来出現が予想される高性能の革新的航空機を開発するために、必要とされる推進装置、軽量構造及び制御システム等に関わる技術について、調査及び実用化研究開発等を計画的に推進し、我が国航空機技術の飛躍的向上を図り、もって我が国航空機工業発展の基盤をつくることを目的としています。

SJAC では、この目的に沿う、以下に記す調査項目（指定型、或いは提案型）のいずれかに関して最新の技術動向調査研究を行い、その成果を革新センター報告会、SJAC 講演会、SJAC 会報への掲示（SJAC のウェブサイトへの掲示を含む）等通じて、広く会員企業内への共有を図ります。

（1）調査項目

ア. 調査項目指定型技術調査

以下のいずれかの項目に係る技術動向調査

| | 調査項目 |
|---|---|
| 1 | 高強度軽量新素材の開発 |
| 2 | BWB 機や truss-braced-wing 機などの新しい形態機の構造的課題 |
| 3 | 飛行外部環境検知/予測技術 |

イ. 調査項目提案型技術調査

上記ア. 項と異なり SJAC は調査項目を指定せず、応募者が前述の革新センターの目的に資する具体的な調査項目を提案し、その調査項目に対して技術動向の調査を実施します。提案に際しては、下表内の“調査対象の技術”のいずれかに係るものとしします。

| | 調査対象の技術 |
|---|--|
| 1 | 空力領域における低騒音化技術 |
| 2 | 構造領域における新形態航空機技術(BWB 機や truss-braced-wing 機等)、或いは 軽量構造様式技術 |
| 3 | 材料領域における軽量機体素材技術、或いは 材料リサイクル技術 |
| 4 | 制御領域における省人化技術、或いは 安全性向上技術 |
| 5 | 伝熱・燃焼領域における環境適合型燃焼技術 |
| 6 | 装備品領域における客席シートに関する新型コロナウイルス感染症対策技術 |
| 7 | 複合材修理技術、或いは整備/運用技術 |
| 8 | 航空機の電動化、或いは電動航空に関する技術 |
| 9 | SAF（代替燃料）に関する技術 |

（2）事業期間

調査研究委託契約締結日～令和4年3月31日

2. 応募方法等

本ページ下の公募要領及び仕様書に基づき応募願います。

資料

- 公募要領について <https://www.sjac.or.jp/common/pdf/info/news309-1.pdf>
※ 上記より資料が開かない場合は、URL を直接入力願います。
- 仕様書について <https://www.sjac.or.jp/common/pdf/info/news309-2.pdf>
※ 上記より資料が開かない場合は、URL を直接入力願います。